

伊那谷・経済動向

中小企業景気レポート



アルプス中央信用金庫

<http://www.alupuschuo-shinkin.jp/>

ALSHIN
BANK

主要指標		今期	前年同期	前年同期比
有効求人倍率 (伊那公共職業案内所管内)		25/11 0.95 倍	24/11 0.66 倍	前年同月比 0.29 倍
電力使用量 (伊那営業所管内)	電灯	9~11月 79,434千kwh	9~11月 79,357千kwh	0.10 %
	電力	9~11月 253,689千kwh	9~11月 244,271千kwh	3.86 %
自動車新規登録台数 (松本自動車検査 登録事務所管内)	新車	7,562 台	6,362 台	18.86 %
	中古車	1,871 台	1,805 台	3.66 %
	合計	9,433 台	8,167 台	15.50 %
住宅新設着工数 (戸建、共同住宅を含む) (上伊那地方事務所管内)		9~11月 259 件	9~11月 243 件	6.58 %
駒ヶ岳ロープウェイ乗車客数		56,017 人	65,448 人	-14.41 %
中央道利用台数 (伊北インター分)	入	302,739 台	301,805 台	0.31 %
	出	288,338 台	287,285 台	0.37 %
中央道利用台数 (伊那インター分)	入	424,585 台	417,673 台	1.65 %
	出	441,773 台	428,849 台	3.01 %
中央道利用台数 (駒ヶ根インター分)	入	337,559 台	331,216 台	1.92 %
	出	332,443 台	333,349 台	-0.27 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	267,799 台	266,906 台	0.33 %
	出	261,472 台	264,051 台	-0.98 %

前期 7 - 9月 今期 10 - 12月 来期 1 - 3月 4 - 6月の四半期毎集計

※このレポートは、当金庫のお取引先215社に対し、平成25年10月~12月期の景気の現状と平成26年1月~3月期の見通しを調査したものです。

地区内の景況観

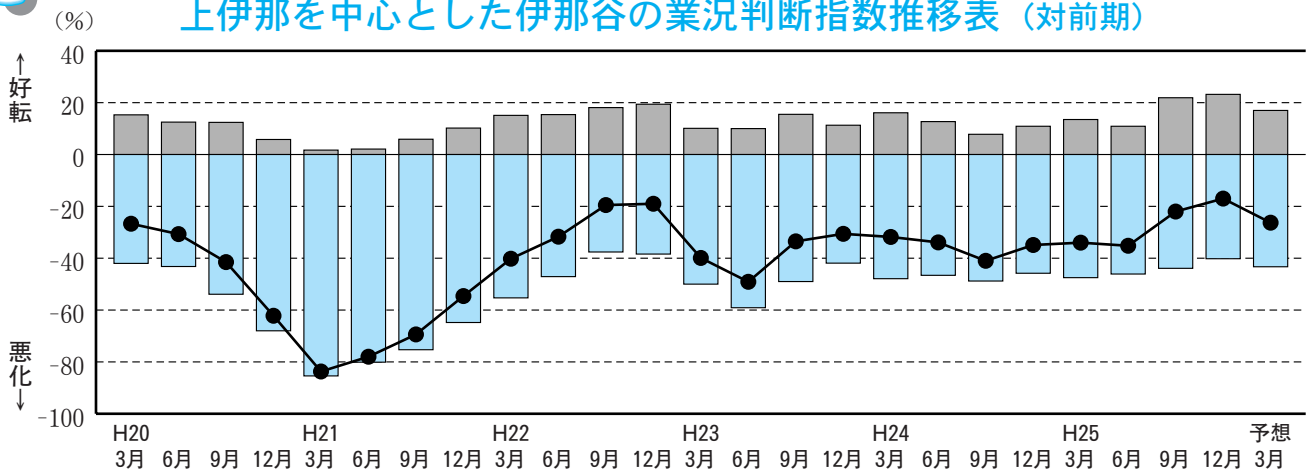
◇**今期の業況**：今期の上伊那地区内の業況を総合的に見ると、良かったとする企業は**23.2%**（前期**21.9%**）、悪かったとする企業は**40.2%**（前期**43.9%**）で、DIは**▲17.0**（前期**▲22.0**）と前期より**5.0**ポイント水面下ながら改善した。公共投資および住宅投資が増加しており、また設備投資や個人消費も堅調に推移するなかで、生産は下げ止まっており、持ち直しに向かう動きがみられるほか、雇用・所得においても改善の動きがみられ、当地域経済も緩やかではあるが持ち直しつつある。

業種別のDIを見ると、**製造業▲32.0**（前期**▲30.5**）、**建設業23.8**（前期**▲2.2**）、**卸売業11.1**（前期**20.0**）、**小売業▲24.3**（前期**▲37.2**）、**サービス業▲41.4**（前期**▲39.2**）、**不動産業0.0**（前期**33.3**）となっており、建設業、卸売業、不動産業以外はマイナスの領域となっている。前期と比較して、**建設業は26.0**ポイント好調に転じたが、**卸売業は8.9**ポイント、**不動産業は33.3**ポイント好調感が後退した。小売業はマイナスの領域であるが、前期と比較して、水面下ながら**12.9**ポイント改善したが、**製造業は1.5**ポイント、**サービス業は2.2**ポイント悪化傾向が強まった。

◇**来期の見通し**：来期の業況を総合的に見ると、DIは**▲26.3**（今期**▲17.0**）と**9.3**ポイント悪化傾向が強まると予想している。

業種別で見ると、DIは**製造業▲41.3**（今期**▲32.0**）、**建設業9.5**（今期**23.8**）、**卸売業0.0**（今期**11.1**）、**小売業▲15.2**（今期**▲24.3**）、**サービス業▲65.6**（今期**▲41.4**）、**不動産業0.0**（今期**0.0**）と、製造業、小売業、サービス業については、引き続きマイナスの見通しとなっている。今期と比べると**製造業は9.3**ポイント、**サービス業は24.2**ポイント悪化傾向が強まると予想され、**建設業は14.3**ポイント、**卸売業は11.1**ポイント好調感が後退する予想となっている。**小売業9.1**ポイント水面下ながら改善すると予想され、**不動産業については前期とほぼ同水準に推移すると予想されている。**

上伊那を中心とした伊那谷の業況判断指数推移表（対前期）



※棒グラフは業況判断指数、折れ線グラフはDIを表しています。

※DIとは、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた数値で、どちらの力が強いかで業況を判断しています。

なお、「仕入価格」については下降割合から上昇割合を、「販売価格」については上昇割合から下降割合をそれぞれ差し引いた数値で判断しています。

業種別天気図

業種	時期	平成25年	平成25年	平成25年	平成26年
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期予想
総合		☔	☁	☁	☁
製造業		☔	☔	☔	☔
建設業		☁	☁	☁	☁
卸売業		☁	☁	☁	☁
小売業		☔	☔	☁	☁
サービス業		☁	☔	☔	☔
不動産業		☁	☀	☁	☁



製 造 業 (調査先企業 80 社 うち回答企業 75 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**17.3%**（前期**16.7%**）、悪かったとする企業は**49.3%**（前期**47.2%**）でDIは▲**32.0**（前期▲**30.5**）と1.5ポイント悪化傾向は強まり、引き続き厳しい状況が続いている。

各指標別で見ると、売上額では前期に比べDI▲**1.4**（前期▲**2.7**）で1.3ポイント改善し、受注残においてもDI▲**12.2**（前期▲**16.4**）と4.2ポイント改善した。資金繰りのDIは▲**16.0**（前期▲**17.9**）で1.9ポイント厳しさが和らいだ。原材料価格のDIは▲**33.4**（前期▲**42.5**）と9.1ポイント改善したが、**34.7%**の企業は原材料価格が上昇していると回答しているのに対し、下降していると回答した企業は**1.3%**に留まっている。販売価格のDIは▲**12.0**（前期▲**9.6**）で2.4ポイント悪化し、収益のDIは▲**20.0**（前期▲**15.1**）と4.9ポイント減益幅が拡大した。

前年同期比で見ると売上額はDI▲**22.6**（前年同期▲**40.8**）と**18.2**ポイント改善しており、収益面についてもDI▲**40.0**（前年同期▲**42.1**）と2.1ポイント減益幅が縮小した。売上が減少とした企業は**49.3%**（前年同期**60.5%**）であり、収益が減少とした企業は**52.0%**（前年同期**57.9%**）と、売上、収益について改善はしているものの、引き続き厳しい状況は続いていると見る企業が多い。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、良いと予想する企業は**12.0%**（今期**17.3%**）、悪いと予想する企業は**53.3%**（今期**49.3%**）で、DIは▲**41.3**（今期▲**32.0**）と9.3ポイント悪化傾向が強まると予想している。

主な指標では、売上額はDI▲**28.0**（今期▲**1.4**）と**26.6**ポイント減少を強めると予想され、受注残についてもDI▲**27.0**（今期▲**12.2**）と**14.8**ポイント悪化すると予想している。資金繰りのDIは▲**18.6**（今期▲**16.0**）と2.6ポイント厳しさが増すと予想しており、各企業の資金繰りはより一層厳しい状況になると予想される。借入を予定している企業は**20.3%**（今期実施**33.3%**）で今期と比べ減少している。設備投資の実施を予定している企業は**36.6%**（今期実施**41.4%**）、予定していない企業は**63.4%**（今期実施なし**58.6%**）と各企業が設備投資拡大には未だ慎重であることがうかがえる。

◆DI指数推移

	平成24年	平成25年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況	▲48.6	▲44.5	▲43.4	▲30.5	▲32.0	▲41.3
売 上 額	▲39.5	▲23.6	▲14.5	▲2.7	▲1.4	▲28.0
受 注 残	▲32.9	▲22.3	▲15.8	▲16.4	▲12.2	▲27.0
収 益	▲36.8	▲34.7	▲26.3	▲15.1	▲20.0	▲38.7
販 売 価 格	▲21.1	▲19.4	▲15.8	▲9.6	▲12.0	▲10.7
原 材 料 価 格	▲7.9	▲29.2	▲42.1	▲42.5	▲33.4	▲30.7
原 材 料 在 庫	6.6	12.5	9.2	2.8	5.3	0.0
資 金 繰 り	▲30.2	▲15.3	▲23.7	▲17.9	▲16.0	▲18.6

◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

	平成24年	平成25年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借 入 実 施	した	26.3%	30.6%	34.7%	29.2%	33.3%	20.3%
	しない	73.7%	69.4%	65.3%	70.8%	66.7%	79.7%
借 入 難 易 度	容 易	12.2%	7.0%	8.1%	11.0%	10.8%	—
	不 変	59.4%	67.6%	67.6%	57.5%	66.2%	—
	難	14.9%	9.9%	10.8%	11.0%	6.8%	—
	該当なし	13.5%	15.5%	13.5%	20.5%	16.2%	—

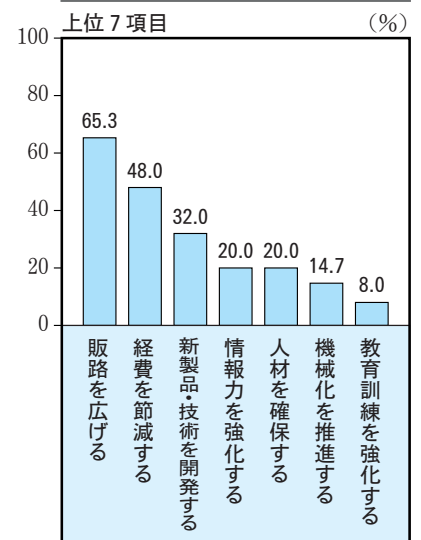
◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

	平成24年	平成25年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
実 施	した	32.6%	42.9%	41.8%	36.3%	41.4%	36.6%
	しない	67.4%	57.1%	58.2%	63.7%	58.6%	63.4%
状 況	過 剰	21.1%	12.7%	18.4%	12.3%	17.6%	13.9%
	適 正	67.1%	71.8%	67.1%	74.0%	68.9%	68.0%
	不 足	11.8%	15.5%	14.5%	13.7%	13.5%	18.1%
DI	9.3	▲2.8	3.9	▲1.4	4.1	▲4.2	

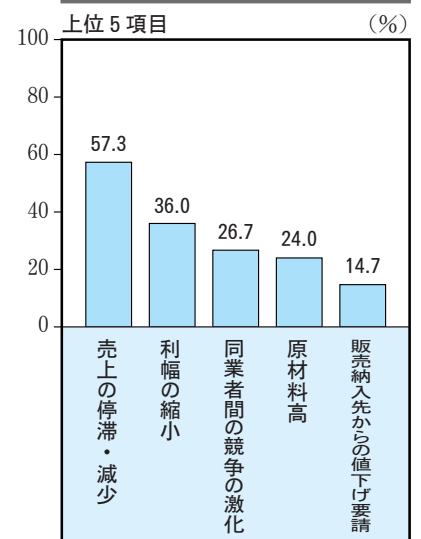
◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

	平成24年	平成25年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残 業 時 間	増 加	17.1%	13.9%	17.1%	16.4%	16.0%	16.0%
	不 変	46.1%	58.3%	48.7%	53.5%	53.3%	53.3%
	減 少	36.8%	27.8%	34.2%	30.1%	30.7%	30.7%
人 手	過 剰	26.3%	13.9%	26.3%	16.4%	20.0%	20.0%
	適 正	65.8%	75.0%	64.5%	68.5%	68.0%	68.0%
	不 足	7.9%	11.1%	9.2%	15.1%	12.0%	12.0%

重点経営施策（複数回答）



経営上の問題点（複数回答）



建設業

(調査先企業 48 社 うち回答企業 42 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**47.6%**（前期**31.1%**）、悪かったとする企業は、**23.8%**（前期**33.3%**）で、**DI**は**23.8**（前期**▲2.2**）と**26.0**ポイント好転した。受注について低迷が続いてきていたが、ここに来て一転増加傾向の状況となっている。

各指標別を見ると、売上額は**DI31.0**（前期**▲4.5**）で**35.5**ポイントと大幅に好転し、受注残についても**DI38.1**（前期**▲4.4**）と**42.5**ポイント大幅に好転した。施工高は**DI30.9**（前期**0.0**）と増加に転じた。価格面では請負価格が**DI2.4**（前期**▲13.3**）と**15.7**ポイント上昇に転じた。材料価格は**DI▲66.7**（前期**▲44.4**）と**22.3**ポイント仕入れ価格はさらに低下して、仕入価格が上昇したとする企業の割合は約7割となっている。収益面は**DI4.8**（前期**▲22.2**）で**27.0**ポイント増加しており、収益が増加したと回答した企業が前期より約10%増加している。資金繰りについては、**DI▲31.7**（前期**▲33.4**）と**1.7**ポイント改善されているが、前期同様4割程度の企業は資金繰りが苦しいと回答している。

前年同期比で見ると、売上額は**DI26.2**（前年同期**9.3**）と**16.9**ポイント改善し、収益面についても**DI2.4**（前年同期**▲13.9**）と**16.3**ポイント好転した。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、**DI9.5**（今期**23.8**）と**14.3**ポイント好調感が縮小すると業況予想している。

各指標別においては、売上額は**DI9.5**（今期**31.0**）と**21.5**ポイント増加傾向が後退すると予想され、受注残についても**DI▲14.3**（今期**38.1**）と**52.4**ポイントと大幅に悪化する見通しである。収益面について**DIは▲4.8**（今期**4.8**）と**9.6**ポイント増加から減少に転じると予想、受注残が大幅に悪化した結果、売上額も減少し、収益面についても減益幅が拡大すると予想されている。資金繰りは**DI▲36.6**（今期**▲31.7**）と**4.9**ポイント悪化し、資金繰りについては引き続き厳しい状況にあると予想している。

※「売上高＝完成工事高」、「施工高＝出来高」、「請負価格＝受注額」

◆DI指数推移

	平成24年		平成25年				予 想
	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
業 況	▲18.6	▲6.8	▲23.3	▲2.2	23.8	9.5	
売 上 額	4.7	▲2.3	▲11.6	▲4.5	31.0	9.5	
受 注 残	▲2.3	▲9.1	▲7.0	▲4.4	38.1	▲14.3	
収 益	▲9.3	▲11.4	▲21.0	▲22.2	4.8	▲4.8	
請 負 価 格	▲20.9	▲15.9	▲7.0	▲13.3	2.4	▲4.9	
材 料 価 格	▲20.9	▲34.1	▲46.5	▲44.4	▲66.7	▲57.1	
在 庫	4.8	0.0	4.7	8.9	▲4.8	▲4.8	
資 金 繰 り	▲34.8	▲38.7	▲23.9	▲33.4	▲31.7	▲36.6	

◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

	平成24年		平成25年				予 想
	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
借 入 実 施	した	57.1%	50.0%	53.5%	60.0%	54.8%	48.8%
	しない	42.9%	50.0%	46.5%	40.0%	45.2%	51.2%
借 入 難 易 度	容 易	4.9%	2.3%	14.6%	6.7%	4.8%	—
	不 変	60.9%	62.8%	63.4%	62.2%	73.7%	—
	難	22.0%	27.9%	12.2%	22.2%	16.7%	—
	該当なし	12.2%	7.0%	9.8%	8.9%	4.8%	—

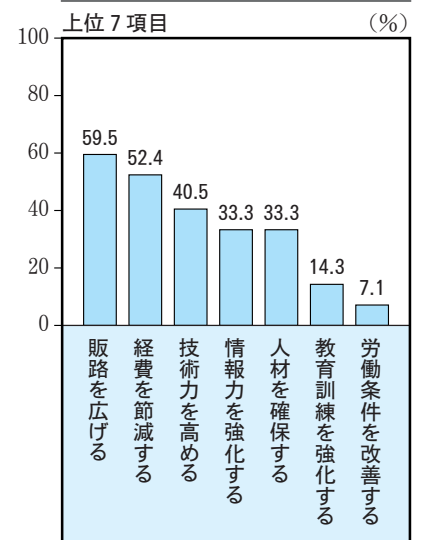
◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

	平成24年		平成25年				予 想
	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
実 施	した	36.0%	43.4%	40.4%	43.4%	36.5%	36.5%
	しない	64.0%	56.6%	59.6%	56.6%	63.5%	63.5%
状 況	過 剰	4.9%	4.7%	9.5%	2.2%	4.9%	4.9%
	適 正	80.5%	81.3%	76.2%	82.2%	75.6%	82.9%
	不 足	14.6%	14.0%	14.3%	15.6%	19.5%	12.2%
DI	▲9.7	▲9.3	▲4.8	▲13.4	▲14.6	▲7.3	

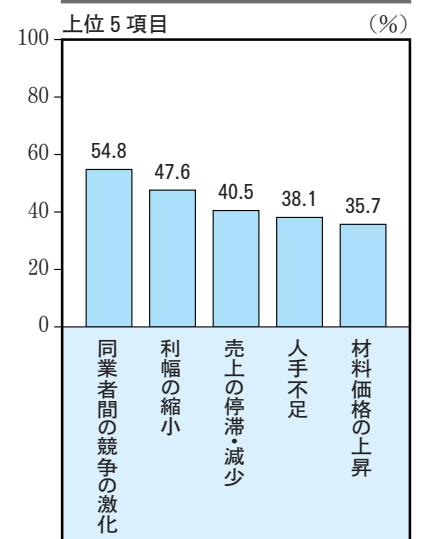
◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

	平成24年		平成25年				予 想
	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
残 業 時 間	増 加	14.0%	20.5%	7.0%	8.9%	28.6%	19.5%
	不 変	79.0%	70.4%	74.4%	77.8%	59.5%	70.7%
	減 少	7.0%	9.1%	18.6%	13.3%	11.9%	9.8%
人 手	過 剰	9.3%	9.1%	14.0%	6.7%	2.4%	4.9%
	適 正	53.5%	65.9%	58.1%	62.2%	50.0%	46.3%
	不 足	37.2%	25.0%	27.9%	31.1%	47.6%	48.8%

重点経営施策（複数回答）



経営上の問題点（複数回答）



卸 売 業 (調査先企業 11 社 うち回答企業 9 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**22.2%**（前期**30.0%**）で、悪かったとする企業は**11.1%**（前期**10.0%**）で**DI11.1**（前期**20.0**）と好感感が後退した。

各指標別に見ると、**売上額**は、前期比では**DI33.4**（前期**30.0**）と**3.4**ポイント増加幅が拡大した。**販売価格**は**DI11.1**（前期**30.0**）で**18.9**ポイント減少し、販売価格の上昇は前期に引続き弱まりを見せている。**仕入価格**の**DI**は**▲66.7**（前期**▲50.0**）と**16.7**ポイント下降幅が拡大した。**収益面**は**DI11.1**（前期**20.0**）と**8.9**ポイント増加傾向が縮小した。**資金繰り**については**DI▲22.2**（前期**0.0**）で**22.2**ポイント厳しい状況に転じた。**借入れ**を実施した企業は**37.5%**（前期**55.6%**）と減少、**設備の状況**については適正とする企業は**75.0%**（前期**80.0%**）となっている。**設備投資の実施**をした企業は**11.1%**（前期**9.1%**）と今期実施した企業はあるものの、引続き低い実施率となっている。

前年同期比で見ると、**売上額**は**DI0.0**（前年同期**▲10.0**）と**10.0**ポイント増加傾向に転じたが、**収益面**については**DI▲11.1**（前年同期**10.0**）と**21.1**ポイント増加から減少に転じた。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、**DI0.0**（今期**11.1**）と好感感が後退すると予想される。

主な指標で見ると、**売上額**の**DI**は**0.0**（今期**33.4**）と増加傾向が後退すると予想されるが、**収益**については**DI**も**11.1**（今期**11.1**）と同水準で推移すると予想されている。**販売価格**は価格が上昇すると予想する企業が**0.0%**（今期**11.1%**）、**仕入価格**については価格が上昇すると予想企業が**33.3%**（今期**66.7%**）と、販売価格は上昇しないが、仕入価格については上昇すると予想している。**借入れ**を予定している企業は**42.9%**（今期実績**37.5%**）と今期より増加する見通しである。**設備投資の実施**を予定している企業は**22.2%**（今期実績**11.1%**）で、来期設備投資を実施予定している企業は増加している。

◆DI指数推移

	平成24年 10~12月	平成25年				予 想 1~3月
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業 況	0.0	▲18.2	0.0	20.0	11.1	0.0
売 上 額	10.0	▲9.1	11.1	30.0	33.4	0.0
収 益	10.0	▲18.2	0.0	20.0	11.1	11.1
販 売 価 格	0.0	9.1	44.4	30.0	11.1	0.0
仕 入 価 格	0.0	▲36.4	▲55.6	▲50.0	▲66.7	▲33.3
在 庫	10.0	9.1	22.2	20.0	33.3	33.3
資 金 繰 り	▲10.0	▲9.1	▲11.1	0.0	▲22.2	0.0

◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

	平成24年 10~12月	平成25年				予 想 1~3月	
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
借 入 実 施	した	11.1%	45.5%	25.0%	55.6%	37.5%	42.9%
	しない	88.9%	54.5%	75.0%	44.4%	62.5%	57.1%
借 入 難 易 度	容 易	0.0%	9.1%	14.3%	0.0%	0.0%	—
	不 変	87.5%	63.6%	71.4%	100.0%	77.8%	—
	難	12.5%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	—
	該当なし	0.0%	9.1%	14.3%	0.0%	22.2%	—

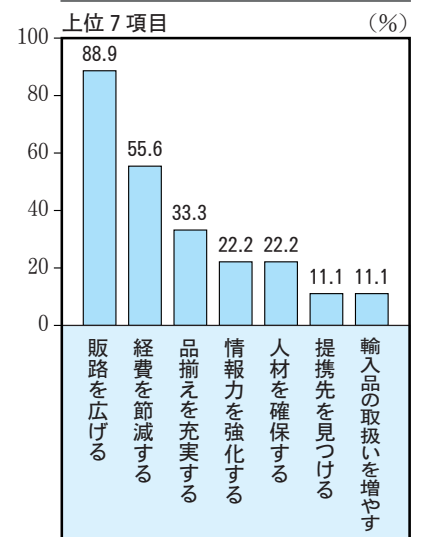
◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

	平成24年 10~12月	平成25年				予 想 1~3月	
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
実 施	した	10.0%	9.1%	0.0%	9.1%	11.1%	22.2%
	しない	90.0%	90.9%	100.0%	90.9%	88.9%	77.8%
状 況	過 剰	10.0%	18.2%	14.3%	10.0%	12.5%	12.5%
	適 正	90.0%	81.8%	71.4%	80.0%	75.0%	75.0%
	不 足	0.0%	0.0%	14.3%	10.0%	12.5%	12.5%
DI	10.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	

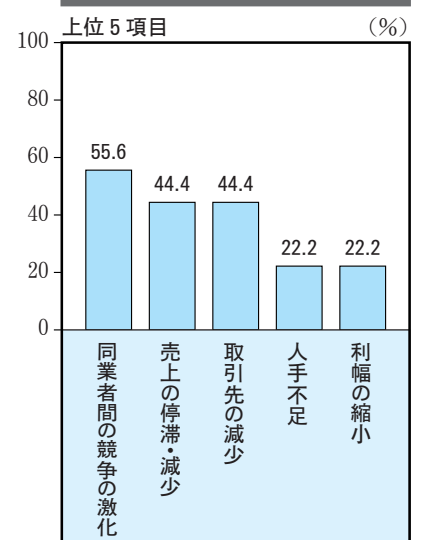
◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

	平成24年 10~12月	平成25年				予 想 1~3月	
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
残 業 時 間	増 加	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%
	不 変	88.9%	90.0%	87.5%	100.0%	88.9%	77.8%
	減 少	11.1%	10.0%	12.5%	0.0%	0.0%	11.1%
人 手	過 剰	0.0%	11.1%	11.1%	10.0%	11.1%	0.0%
	適 正	80.0%	77.8%	88.9%	90.0%	77.8%	77.8%
	不 足	20.0%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%

重点経営施策（複数回答）



経営上の問題点（複数回答）



小 売 業 (調査先企業 40社 うち回答企業 33社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**21.2%**（前期**17.1%**）、悪かったとする企業は**45.5%**（前期**54.3%**）で、**DI▲24.3**（前期▲**37.2**）と**12.9**ポイント水面下ながら改善した。

各指標別に見ると、売上額は、**DI15.2**（前期▲**11.4**）と**26.6**ポイント増加に転じた。販売価格については、**DI15.2**（前期**5.7**）と**9.5**ポイント上昇傾向を強めたが、仕入価格の**DI▲36.4**（前期▲**28.6**）と**7.8**ポイントさらに低下した。収益面では、**DI9.1**（前期▲**28.6**）と**37.7**ポイント増加傾向に転じた。資金繰りの**DI▲18.7**（前期▲**20.0**）と**1.3**ポイント窮屈感が和らいだ。今期借入れをした企業は**24.2%**（前期**23.5%**）とほぼ同水準で推移している。今期設備投資の実施をした企業は**12.1%**（前期**11.4%**）とほぼ同水準で推移しており、9割近くの企業は設備投資を行わず営業を続けている。

前年同期比で見ると、売上額は**DI▲6.1**（前年同期▲**34.3**）と水面下ながら改善しており、収益面についても**DI▲21.2**（前年同期▲**45.7**）と前年同期より**24.5**ポイント減益幅は縮小、景気回復に乗り個人消費の低調感が和らいだことにより、減少に歯止めが掛かった。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、**DI▲15.2**（今期▲**24.3**）と**9.1**ポイント水面下ながら改善する予想であり、個人消費については今期以上に期待されると予想されている。

各指標別では、売上額の**DIは▲12.1**（今期**15.2**）と**27.3**ポイント増加から減少に転じる予想となっており、収益についても**DI▲12.1**（今期**9.1**）で**21.2**ポイント増加から減少に転じる見通しである。借入れを予定している企業は**24.2%**（今期実施**24.2%**）と今期と同水準で推移する見通しである。設備投資の実施を予定している企業は**9.1%**（今期実施**12.1%**）となっており、小売業における設備投資需要は低水準にて推移する予想となっている。

◆DI指数推移

	平成24年		平成25年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
業 況	▲37.2	▲41.0	▲58.0	▲37.2	▲24.3	▲15.2	
売 上 額	▲8.6	▲33.4	▲27.3	▲11.4	15.2	▲12.1	
収 益	▲17.1	▲48.7	▲42.4	▲28.6	9.1	▲12.1	
販 売 価 格	▲11.5	▲2.5	▲18.1	5.7	15.2	0.0	
材 料 価 格	▲14.3	▲10.3	▲12.1	▲28.6	▲36.4	▲42.4	
在 庫	17.1	15.3	24.2	0.0	24.2	12.1	
資 金 繰 り	▲14.3	▲28.2	▲6.1	▲20.0	▲18.7	▲24.3	

◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

	平成24年		平成25年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借 入 実 施	した	38.2%	28.2%	25.0%	23.5%	24.2%	24.2%
	しない	61.8%	71.8%	75.0%	76.5%	75.8%	75.8%
借 入 難 易 度	容 易	23.5%	13.2%	15.6%	14.3%	15.2%	—
	不 変	44.2%	52.5%	50.0%	51.4%	48.4%	—
	難	14.7%	13.2%	12.5%	11.4%	15.2%	—
	該当なし	17.6%	21.1%	21.9%	22.9%	21.2%	—

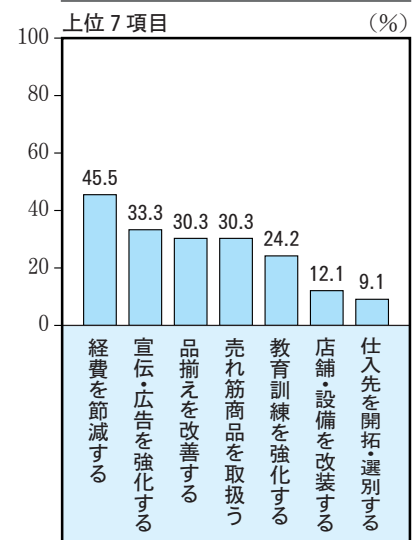
◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

	平成24年		平成25年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
実 施	した	21.1%	12.5%	12.5%	11.4%	12.1%	9.1%
	しない	78.9%	87.5%	87.5%	88.6%	87.9%	90.9%
状 況	過 剰	6.3%	7.9%	9.4%	6.1%	13.3%	10.0%
	適 正	74.9%	71.0%	68.7%	78.7%	70.0%	73.3%
	不 足	18.8%	21.1%	21.9%	15.2%	16.7%	16.7%
DI	▲12.5	▲13.2	▲12.5	▲9.1	▲3.4	▲6.7	

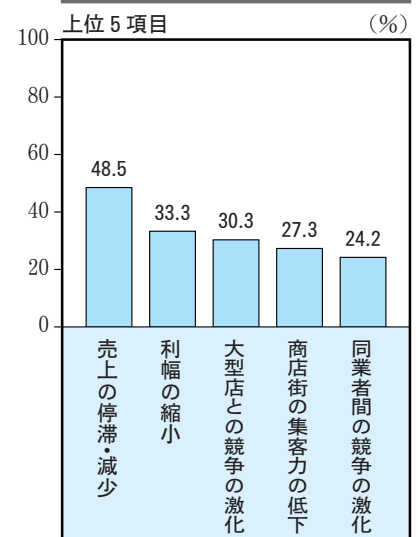
◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

	平成24年		平成25年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残 業 時 間	増 加	12.1%	5.6%	6.9%	6.5%	6.3%	12.5%
	不 変	81.8%	80.5%	82.8%	87.0%	84.3%	84.4%
	減 少	6.1%	13.9%	10.3%	6.5%	9.4%	3.1%
人 手	過 剰	6.1%	5.3%	12.5%	11.8%	9.4%	9.4%
	適 正	81.8%	73.6%	81.2%	70.6%	84.3%	84.3%
	不 足	12.1%	21.1%	6.3%	17.6%	6.3%	6.3%

重点経営施策（複数回答）



経営上の問題点（複数回答）



サービス業 (調査先企業 30 社 うち回答企業 29 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**6.9%**（前期**17.9%**）、悪かったとする企業は**48.3%**（前期**57.1%**）で、DIは**▲41.4**（前期**▲39.2**）と**2.2**ポイント悪化傾向が強まり、依然として厳しい状況は続いている。

各指標別で見ると、売上額はDI**▲27.6**（前期**▲14.3**）と**13.3**ポイント減少を強めた。収益のDIについても**▲31.0**（前期**▲21.4**）と**9.6**ポイント減益幅は拡大した。資金繰りのDIは**▲42.9**（前期**▲11.1**）と**31.8**ポイント悪化し、資金繰りの窮屈感が強まった。借入金は、今期借入れをした企業は**10.3%**（前期**25.0%**）と**14.7%**減少した。借入れが容易とする企業は**7.4%**（前期**3.6%**）と増加し、また反面難しいとする企業は**18.5%**（前期**21.4%**）と減少している。仕入価格のDIは**▲48.3**（前期**▲64.3**）で仕入れ価格が上昇したとする企業の割合が減少した。また料金価格のDIは**▲10.3**（前期**7.2**）と**17.5**ポイントと上昇から下降へと転じた。設備の状況については、過剰とする企業は**3.8%**（前期**7.1%**）と減少しており、不足とする企業も**15.4%**（前期**25.0%**）と減少しているが、反面今期設備投資の実施をした企業は**29.4%**（前期**14.3%**）と増加している。

前年同期比で見ると、売上額はDI**▲20.7**（前年同期**▲54.8**）と**34.1**ポイント減少幅は縮小し、収益面についてもDI**▲31.0**（前年同期**▲61.2**）と**30.2**ポイント減益幅が縮小している。各企業売上が改善した結果、収益確保についても減少に歯止めが掛かった状況となっている。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについて、DI**▲65.6**（今期**▲41.4**）と**24.2**ポイント悪化傾向が強まる予想である。

主な指標で見ると、売上額のDIは**▲58.7**（今期**▲27.6**）と減少幅が拡大すると予想、収益のDIも**▲62.1**（今期**▲31.0**）と**31.1**ポイント減少を強め、売上、収益ともに悪化すると予想される見通しである。資金繰りのDIは**▲53.6**（今期**▲42.9**）と**10.7**ポイント窮屈感が強まる見通しである。借入れを予定している企業は**31.0%**（今期実施**10.3%**）と今期より増加する見通しであるが、設備投資の実施を予定している企業は**13.3%**（今期実施**29.4%**）と今期より減少する予想である。

◆DI指数推移

	平成24年	平成25年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況	▲35.4	▲48.3	▲25.0	▲39.2	▲41.4	▲65.6
売 上 額	▲38.7	▲51.7	0.0	▲14.3	▲27.6	▲58.7
収 益	▲32.3	▲62.1	▲10.7	▲21.4	▲31.0	▲62.1
料 金 価 格	▲3.2	▲17.2	▲3.5	7.2	▲10.3	▲17.2
材 料 価 格	▲12.9	▲38.0	▲50.0	▲64.3	▲48.3	▲34.5
資 金 繰 り	▲32.3	▲41.4	▲21.4	▲11.1	▲42.9	▲53.6

◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

	平成24年	平成25年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借 入 実 施	した	19.4%	17.2%	21.4%	25.0%	10.3%	31.0%
	しない	80.6%	82.8%	78.6%	75.0%	89.7%	69.0%
借 入 難 易 度	容 易	6.7%	3.6%	7.4%	3.6%	7.4%	—
	不 変	66.7%	64.3%	55.6%	64.3%	66.7%	—
	難	13.3%	10.7%	22.2%	21.4%	18.5%	—
	該当なし	13.3%	21.4%	14.8%	10.7%	7.4%	—

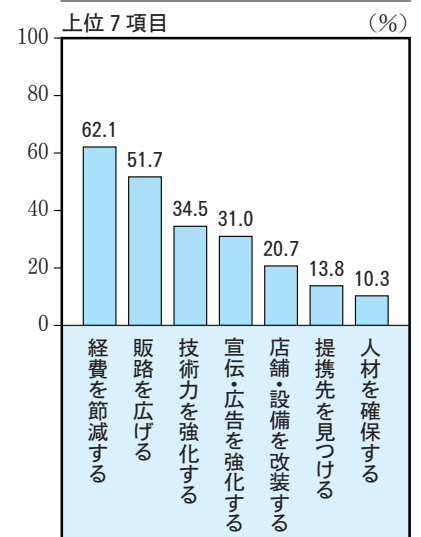
◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

	平成24年	平成25年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
実 施	した	18.8%	20.0%	21.4%	14.3%	29.4%	13.3%
	しない	81.2%	80.0%	78.6%	85.7%	70.6%	86.7%
状 況	過 剰	13.3%	3.6%	7.1%	7.1%	3.8%	7.4%
	適 正	70.0%	75.0%	85.8%	67.9%	80.8%	77.8%
	不 足	16.7%	21.4%	7.1%	25.0%	15.4%	14.8%
DI	▲3.4	▲17.8	0.0	▲17.9	▲11.6	▲7.4	

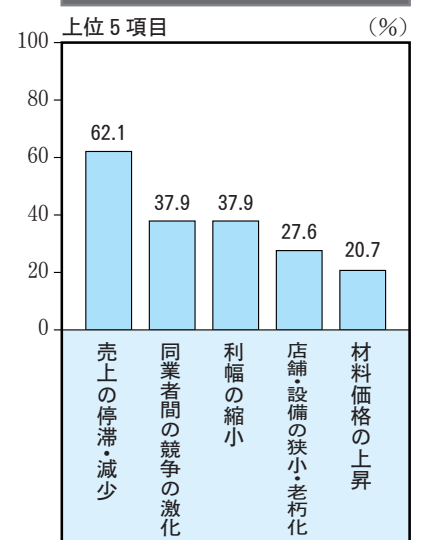
◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

	平成24年	平成25年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残 業 時 間	増 加	0.0%	7.7%	11.5%	12.0%	7.1%	0.0%
	不 変	82.1%	57.7%	69.3%	64.0%	60.8%	75.0%
	減 少	17.9%	34.6%	19.2%	24.0%	32.1%	25.0%
人 手	過 剰	16.1%	25.0%	14.3%	11.1%	17.9%	25.0%
	適 正	74.2%	64.3%	64.3%	81.5%	67.8%	64.3%
	不 足	9.7%	10.7%	21.4%	7.4%	14.3%	10.7%

重点経営施策（複数回答）



経営上の問題点（複数回答）



不動産業 (調査先企業6社 うち回答企業6社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**16.7%**（前期**50.0%**）、悪かったとする企業は**16.7%**（前期**16.7%**）で、DIは**0.0**（前期**33.3**）と**33.3**ポイント好調感が後退した。

各指標別で見ると、売上額はDI▲**16.6**（前期**33.3**）と**49.9**ポイント、収益面についてもDI▲**16.6**（前期**33.3**）と**49.9**ポイント悪化傾向が強まった。販売価格のDIは▲**33.3**（前期▲**16.7**）と下降を強めたが、仕入価格についてはDI**16.7**（前期**16.7**）と同水準で推移している。今期借入れをした企業は**16.7%**（前期**16.7%**）である。

前年同期比で見ると、売上額はDI**0.0**（前年同期**16.7**）、収益面についてもDI**0.0**（前年同期**16.7**）と増加幅が縮小している。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについてはDI**0.0**（今期**0.0**）と同水準で推移すると予想している。

各指標別では、売上額はDI**16.7**（今期▲**16.6**）、収益面についてもDI**16.7**（今期▲**16.6**）と減少から増加に転じる見通しである。販売価格のDIは▲**33.3**（今期▲**33.3**）と変動しない見通しであり、仕入価格についてはDI**33.3**（今期**16.7**）と上昇傾向が強まる予想である。借入れを予定している企業は**16.7%**（今期実施**16.7%**）で今期と同様に推移する見通しである。

◆DI指数推移

	平成24年	平成25年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況	▲16.7	▲20.0	0.0	33.3	0.0	0.0
売 上 額	16.7	0.0	16.6	33.3	▲16.6	16.7
収 益	16.7	40.0	0.0	33.3	▲16.6	16.7
販 売 価 格	▲16.7	▲20.0	▲16.7	▲16.7	▲33.3	▲33.3
仕 入 価 格	20.0	40.0	16.7	16.7	16.7	33.3
在 庫	▲16.7	0.0	▲16.7	▲16.7	0.0	0.0
資 金 繰 り	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7

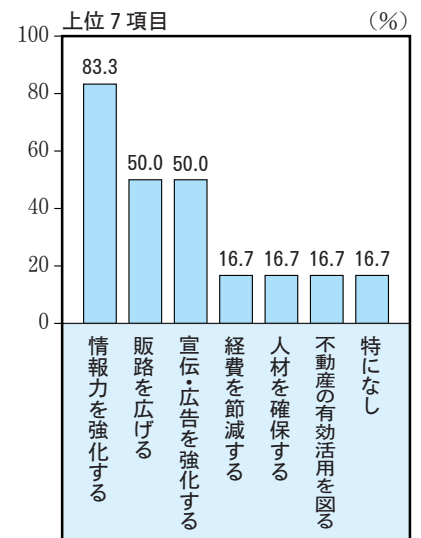
◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

	平成24年	平成25年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借 入 実 施	した	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%
	しない	100.0%	100.0%	100.0%	83.3%	83.3%	83.3%
借 入 難 易 度	容 易	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	—
	不 変	83.3%	100.0%	50.0%	50.0%	80.0%	—
	難	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—
	該当なし	16.7%	0.0%	33.3%	50.0%	20.0%	—

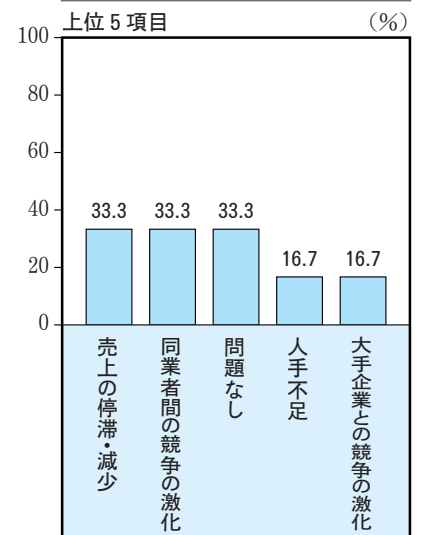
◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

	平成24年	平成25年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残 業 時 間	増 加	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	不 変	83.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	減 少	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
人 手	過 剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	適 正	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	83.3%	83.3%
	不 足	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%

重点経営施策（複数回答）



経営上の問題点（複数回答）



特別調査

平成26年の経営見通し

問1 貴社では、平成26年の日本の景気をどのように見通していますか。

総合では、「普通」と見込んでいる企業が**33.3%**、次いで「やや悪い」**26.6%**、「やや良い」**22.4%**と続くが、「非常に良い」と回答した企業は、全業種において**0%**となっている。昨年実施した調査においては総合で「平成25年の見通し」について「やや悪い」「悪い」と見込んでいる企業は**8割以上**であったのに対し、今回の調査では「やや悪い」**26.6%**、「悪い」**14.1%**と全体の**4割程度**になっている。今年当地区においてもアベノミクス効果による影響は非常に大きく、引続き平成26年についても安倍政権による経済政策に期待するとした回答結果となっているが、消費税率引上げ等による影響を感じている業種も多いと見受けられる。

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1.非常に良い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2.良い	1.0%	1.3%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
3.やや良い	22.4%	22.7%	35.7%	33.4%	9.7%	10.3%	33.3%
4.普通	33.3%	34.7%	30.9%	22.2%	25.8%	37.9%	66.7%
5.やや悪い	26.6%	28.0%	16.7%	22.2%	41.9%	27.6%	0.0%
6.悪い	14.1%	12.0%	11.9%	11.1%	19.4%	20.7%	0.0%
7.非常に悪い	2.6%	1.3%	4.8%	0.0%	3.2%	3.4%	0.0%

問2 貴社では、平成26年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。

総合では、「普通」と見込んでいる企業が**33.5%**、次いで「やや悪い」が**31.9%**となっている、「非常に良い」と回答した企業は、全業種において**0%**となっている。また「良い」と回答した業種は卸売業**11.1%**のみである。製造業においては「やや悪い」**34.7%**、「悪い」**17.3%**と回答した企業が全体の**5割以上**を占めており、製造業の多い当地区の経済は厳しい状況にあり、平成26年についても未だ先行きは不透明であると見て取れる回答となっている。

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1.非常に良い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2.良い	0.5%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
3.やや良い	14.2%	18.7%	17.1%	11.1%	9.7%	0.0%	33.3%
4.普通	33.5%	28.0%	41.4%	55.6%	25.8%	31.0%	66.7%
5.やや悪い	31.9%	34.7%	24.4%	22.2%	35.5%	41.4%	0.0%
6.悪い	18.3%	17.3%	17.1%	0.0%	25.8%	24.1%	0.0%
7.非常に悪い	1.6%	1.3%	0.0%	0.0%	3.2%	3.5%	0.0%

問3 平成26年において貴社の売上額の伸び率は、平成25年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。

総合では、「変わらない」、「10%未満の減少」と見込んでいる企業が全体の**約6割程度**となっている。上記問1.日本の景気や問2.自社の業況の見通しの回答内容に比べると、売上の伸び率に対する見込みは悪化傾向とする回答は少ない。各企業は、新規顧客の開拓や販路の拡大による売上額の確保をすることで売上額を現状維持しようとしており、その企業努力の結果が回答に反映されていると思われる。

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1.30%以上の増加	2.1%	2.7%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2.20~29%の増加	0.5%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3.10~19%の増加	6.2%	5.3%	7.1%	22.2%	9.7%	0.0%	0.0%
4.10%未満の増加	16.7%	20.0%	23.8%	11.1%	6.4%	3.4%	50.0%
5.変わらない	32.3%	32.0%	26.2%	55.6%	32.3%	34.5%	33.3%
6.10%未満の減少	24.5%	16.0%	26.2%	11.1%	35.5%	41.4%	0.0%
7.10~19%の減少	11.5%	13.3%	11.9%	0.0%	9.7%	13.8%	0.0%
8.20~29%の減少	3.6%	6.7%	0.0%	0.0%	6.4%	0.0%	0.0%
9.30%以上の減少	2.6%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	6.9%	16.7%

問 4 貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。

総合では「すでに上向いている」12.1%、「6ヶ月から1年後」と見込んでいる21.6%と全体の33.7%、対照的に「業況改善の見通しは立たない」と見込んでいる企業は37.9%と2つに大きく分かれる結果となった。特に小売業・サービス業においては「見通しが立たない」と回答している企業の割合が多く全体の約6割程度となっている。また、製造業においては「6ヶ月～1年後」と見込んでいる企業が34%であるのに対し、「見通しが立たない」と回答した企業が32%と両極端となっており、企業間の格差が見られた。

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1.すでに上向いている	12.1%	8.0%	19.5%	0.0%	10.0%	6.9%	66.6%
2.6ヶ月以内	9.5%	16.0%	7.3%	22.2%	3.3%	0.0%	0.0%
3.1年後	12.1%	18.7%	7.3%	22.2%	3.3%	6.9%	16.7%
4.2年後	12.6%	13.3%	12.2%	11.2%	16.7%	6.9%	16.7%
5.3年後	10.0%	8.0%	12.2%	22.2%	10.0%	10.3%	0.0%
6.3年超	5.8%	4.0%	9.8%	0.0%	0.0%	13.8%	0.0%
7.業況改善の見通しは立たない	37.9%	32.0%	31.7%	22.2%	56.7%	55.2%	0.0%

問 5 2020年の東京オリンピック開催決定によって、貴社の今後の業況にどのような影響や期待がありますか。

総合では「あまり期待していない」33.8%、「全く期待していない」28.1%と全体の61.9%の回答となった。「すでに直接的な影響がある」「すでに間接的な影響がある」と回答した業種は建設業のみであるが、その回答率も非常に低く、当地区内においては、「2020年の東京オリンピック」への影響や期待は、現状において少ないと見て取れる回答となっている。

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1.すでに直接的な影響がある	0.5%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2.すでに間接的な影響がある	0.5%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3.今後の直接的な影響に期待している	2.1%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%	0.0%
4.今後の間接的な影響に期待している	16.7%	26.7%	16.7%	11.1%	6.4%	6.9%	0.0%
5.どちらともいえない	16.7%	21.3%	9.5%	11.1%	9.7%	27.6%	0.0%
6.あまり期待していない	33.8%	28.0%	28.6%	66.7%	48.4%	31.0%	33.3%
7.全く期待していない	28.1%	20.0%	35.7%	11.1%	32.3%	31.0%	66.7%
8.その他	1.6%	0.0%	4.7%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%

商品のご案内	
お 使 い み ち	ご自由(事業性資金もOK!)
お 申 込 み いた だ け る 方	<ul style="list-style-type: none"> ●満20歳以上、完済時75歳以下の個人または個人事業主の方 ●当金庫の営業地域内に居住または勤務されている方 ●安定継続した収入のある方(パート、アルバイト、年金収入の方もOK) ●世帯収入のある専業主婦(夫)の方
ご 融 資 金 額	10万円以上300万円以下(1万円単位)
ご 融 資 利 率	<ul style="list-style-type: none"> ●年9.0%(保証料を含む) 固定金利 ●保証会社の審査により年9.0%でお取扱できない場合は、固定金利年13.5%(保証料込)のタイプで同時手続きさせていただきます。
ご 融 資 期 間	6ヶ月以上7年以内
ご 返 済 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ●元利均等定額返済(ご返済日は毎月6日・16日のいずれかの日となります) ●お申込金額の50%以内についてボーナス併用返済もご座います。
担 保 ・ 保 証 人	不要 [㈱クレジットソンの保証付]

- 詳しくは当金庫各支店窓口までお問い合わせください。
- 店頭の商品概要説明書をご用意しております。
- 審査結果によってはお申込金額の減額またはご希望に添えない場合があります。